



平成20年(2008年) 11月14日発行

ふくしまファンクラブ 会報

第7号



昼夜の寒暖差が大きいこと、標高が高く病害虫による被害が少ないことなど、野菜をつくるのに適した気候の小野町で、安全、安心でおいしい野菜づくりに取り組んでいる小野町ミネラル野菜部会長の藤井崇さんにお話を伺いました。

◆ミネラル野菜への取り組み◆

取組みが始まったのは7年前。視察先で食べた根菜が、生で食べても渋味やえぐ味がなく驚きました。

今は、約170の農家がミネラル野菜に取り組んでいて、枝豆やトマト、さやいんげん、ほうれん草など約30種類をつづけています。なかには、小野町への移住者の方もいるんです。

最初からうまくいったわけではなく、発芽や生育のバラツキがあったため、栽培をやり直したこともありました。うまくいきはじめたのは、4年目ぐ

らいからですね。

◆野菜づくりのポイント◆

ミネラル野菜をつくるには、土づくりがポイント。土壌分析をして、不足しているミネラル分を補い、作物に適した健康な土づくりをしています。健康な土づくりが健康な野菜を育てます。土づくりに手を抜くと味が落ちるんですよ。

肥料の値段が高騰し、厳しい状況ではあるけれど、食に対する不安がある今だから、安全で安心なものを提供したいという想いがあります。

直売所で「藤井さんの野菜待ってたんだよ」と声をかけられると、やっぱり励みになりますね。最近では、農家以外の人から「ミネラル野菜」って言ってもらえるようになってきて、これも嬉しい。あとは、安定して供給

できるようにになると、いいですね。

◆おいしい食べ方◆

野菜の甘みを感じられるおすすめの食べ方は、ちぢみほうれん草のしゃぶしゃぶ。

収穫は、12月から2月にかけて。通常60日程度でできるものですが、糖度を上げるために冬の寒さにさらし、倍の120日ほどかけてできあがります。えぐ味の原因となる硝酸値も低く、生で食べてもおいしいですよ。

小野町商工会では、ミネラル野菜の加工品開発に取り組みしており、年間を通してミネラル野菜商品を提供できるよう模索中です。

そんなミネラル野菜を取り扱っているのが、町内にある直



1



2



3

①ミネラル野菜部会長の藤井さん ②土壌分析をし、不足しているミネラル分を混合します ③ミネラル野菜が並ぶエプロン館。笑顔の素敵な吉田店長

ちぢみほうれん草ができるまで



120日ほどかけて、甘みのあるほうれん草に。



約1ヶ月から育てられるほうれん草の苗。植えかちみ1の苗。



ちぢみほうれん草の完成。小野小町誕生の地にちなんでブランド名は「美女伝説」。

売所の「エプロン館」。現在は、立て替え中のため仮店舗で販売していますが、来年3月には新店舗が完成します。また、ネット販売でも購入できます。

■問い合わせ先 小野町役場 農林振興課(電話0247-16935) / エプロン館(小野町大字小野新町字荒町36-1 電話0247-172-2001 hit p://apronkan.ccnk.net/)



童心に戻ってしまいたいような里山がっこう



ふくしまに住む Reason to Live in Fukushima

日本百景やふくしま百名山にも選ばれている霊山。ゴツゴツした岩山で、紅葉の時期をはじめ多くの登山客が訪れます。今回は、霊山のふもとで、地域を元気にしたいという想いを持ち、地域活動に取り組んでいる「NPO法人りょうぜん里山がっこう」と「あすなるの里」をご紹介します。

里山から広がる笑顔の輪

平成12年から様々な交流体験事業を行っている「りょうぜん里山がっこう」。建物は廃校を利用し、会員は60名ほど。活動を聞いてボランティアにくなる方もいるようです。小林誠事務局長も「スタッフの知恵とボランティアの善意によって、里山がっこうは運営されてます」と、話します。

体験教室は、米粉パン教室のほか、木工体験や絵手紙教室など様々。講師のスタッフが丁寧に教えてくれます。また、農業体験ができる「里山野菜クラブ」や保育所の子どもと親子が参加する「里山保育」、団塊の世代向けの「わく・どき塾」、地域の高齢者が集まる「ふれあいサロン」など、地域の幅広い

年代に向けて事業が行われます。施設の2階にある教室には「ギャラリー里山」が常設され、地域文化の発表の場にもなっています。今後は、合宿体験などでもできるよう受入の準備を進めているところです。「地域との交流をもっと深めて、ここが地域みんなのよりどころとなつてほしい。」と、話すのは、高野すみ子校長先生。スタッフの笑顔とホッとする空間が広がる里山がっこうを訪ねてみませんか。

うまく焼けるかな？



ハイ！
焼き上がり！



高野すみ子
校長先生

■ NPO法人りょうぜん里山がっこう

住所：伊達市霊山町大石細倉17

電話：024-587-1032

<http://www3.plala.or.jp/satoyama7/>

癒しの場所をめざして

「ここに来た時は、ほんと竹藪の中だったんですよ」と、明るく話すのは、東京から移住して、今年12月で7年になる小関さんご夫妻。広い土地を探していて、山と沢があり、国道が近かったこと、そして何よりもこの土地から見えた霊山の素晴らしさに心打たれ、霊山に移住を決めました。

その後、竹藪を取り払い、木々を切り、整地をして、土地を利用できるように開拓していきました。古民家も泥だらけで、竹が飛び出していた床の張り替えなど、改修にあけくれた一年だったようです。その古民家も今では、アート館として、裕美子さんの水墨画ヌードクローキ作品などが並んでいます。

す。また、粘土細工や炭焼きなど、ここにあるのであれば、何でも体験としてできるそう。他にも、沢から水を引いた釣り堀は、さとるさんの手作りで、イワナ釣りを楽しめます。山羊やウサギなどの動物に触れ合うこともできます。「自然の力は、ほんとに大きい」と話す小関さん。ここに来るだけで、元気になつて帰って行く人も多いとか。

霊山の恵まれた自然の中にある癒しの場所に足を運んでみませんか。



大好きな霊山が近くに見える

■ あすなるの里

住所：伊達市霊山町石田字見入石63

電話：024-564-5350

<http://www5.ocn.ne.jp/~asunaro/>

- 1 学校だった面影を残す外観
- 2 たくさんの作品が並ぶ館内
- 3 ふれあいサロンで昔話を披露する川辺さんも里山がっこうのメンバー
- 4 イチオシ！のパン教室は、参加者の笑顔が絶えない

- 1 古民家を改修したアート館
- 2 館内には裕美子さんの作品もたくさん並んでいます
- 3 身近な花もアートに変身
- 4 自然の岩を活かした釣り堀



ふくしまをしる

識



義和団事件の頃、
北京で撮影
(会津武家屋敷提供)

ふくしま歴史探訪

柴五郎氏

戊辰戦争敗戦

今年で戊辰戦争から140年。明治以降の会津の歴史は、戊辰戦争の傷からの回復の歴史だったと言えるかもしれない。多くの会津人たちが、会津の内外から力を尽くしてきました。今回は、明治から昭和初期にかけて活躍し、会津そして日本の存在を世界に知らしめた、柴五郎をご紹介します。

五郎は1860年(万延元年)、会津藩士・柴佐多蔵の五男として生まれました。1868年の戊辰戦争時は幼少だったため、従軍せず、家族から離れ、会津若松城から遠いところまで匿われながらの終戦となりました。祖母、母、兄嫁、姉、妹

は城下の自宅で自害。残された五郎と父や兄たちは、逆賊会津藩士とその子息として地獄のような戦後を迎えました。

地獄からの生還

戦争終結後、五郎は父や長兄の太一郎夫妻とともに会津藩士たちの配流先である斗南藩(現在の青森県下北半島)で開墾生活を始めました。しかし当時の斗南は、土地が痩せており、やませ(冷たい風)の影響もあつて思うように収穫があまりませんでした。餓死する者も出始め、五郎たちも死犬の肉を食らうような日々を送りました。

しかし、家族や他の元会津藩士らの尽力により、五郎は青森県給仕の職を経て、1873年(明治6年)、開校間もない陸軍幼年学校に入ることができました。幼年学校や士官学校などを優秀な成績で卒業した五郎は、その後軍人として出世を重ねて行きました。

北京籠城戦

1900年(明治33年)、五郎は英国公使館付きの駐在武官

会津人



晩年の五郎氏

多くの賞賛を受け、1919

年(大正8年)には賊軍会津の

柴五郎をはじめ、戦後を生き残った会津の先人たちの資料を見るならここ！

会津武家屋敷

会津若松市東山町大字石山字院内1
0242-28-2525

白虎隊記念館

会津若松市一箕町大字八幡字弁天下33
0242-24-9170

出としては初めて陸軍大将にまで上り詰めた五郎ですが、決して驕ることはなく、会津人としていつも会津の復興を気にかけていたと言われています。会津生まれの人たちは皆、どこか柴五郎の精神と相通じるものがあります。お近くの会津生まれの人をもう一度観察なさってみてください。柴五郎を知らなくても、きっと心のどこかに柴五郎が住んでいます。

義和団事件

1900年、日本が欧米列強の中東国に侵襲され、各地に暴動が起きました。義和団は、これに反対し、外国人を打ち倒すことを目指しました。しかし、欧米列強はこれを認めず、軍に出動し、義和団を打ち倒しました。結果として、義和団は消滅し、日本は欧米列強と対等な関係になることになりました。

日英同盟

1902年、日本とイギリスが同盟を結ぶことになりました。これは、両国が共同で東アジアの平和を維持することを目的として結ばれた同盟です。日英同盟は、日清戦争後、日本が欧米列強と対等な関係になるための重要な契機となりました。



お話を伺った会長の根本さん



古民家を再生した家の内部

快適古民家再生協会 本部(福島支部)
〒962-0402
須賀川市関下71-2
電話 0248-72-3911
電子メール kominka@kiyou-kensetu.co.jp
ホームページ http://www.kominka-kyoukai.jp

福島県内に点在する空き古民家や民家を、安全で冬も暖かく快適に過ごせる古民家として再生し、一地域居住や定住希望者に提供することが、地域の活性化に寄与できるという考えを広く伝えるため、平成19年に協会を設立しました。

協会をつくることになった経緯

+++ 福島で頑張ってます +++

古民家再生

田舎暮らしをするなら古民家で...そんな願いを持っている方も多いはず。今回は、安全でより快適に過ごせる空間として古民家を再生する取り組みを行っている「快適古民家再生協会」についてをご紹介します。

これまでの活動について

今年2月と3月には東京で、田舎暮らしをする魅力や協会の取り組みを伝える「東京古民家塾」を、また5月には県内で、再生古民家見学など福島を体験する「ふくしま古民家塾」も開催しました。

協会は、福島を始め、山形・宮城の3県の建築関係業者が提携しています。地元業者による家づくりのほか、古民家や空き民家探し、畑作業ができる田舎の土地探しなどもお手伝いしています。

今後の取り組みや目標

古材再利用と地場材で造る家づくりや古民家解体現場の見学体験、地元の森林観察などを企画します。

また、似た者同士で気兼ねなく自分流を楽しむ自然村づくり

ふるさと福島大交流フェア

今年の2月に開催して大好評だった「ふくしまファンのつどい」をさらにパワーアップした「ふるさと福島大交流フェア」を開催します。

トークショーや、福島の産品や体験ブースなど、ふるさとの魅力を丸ごと準備してお待ちしておりますので、ぜひお越しください。なお、事前に申込みが必要です。

平成20年12月14日(日)午後1時～午後4時
JAビル8階 JAホール・国際会議場ほか
(東京都千代田区大手町1-8-3)

申込方法 はがき、ファクシミリ、メールのいずれかに
①ふくしま大交流フェア参加希望 ②会員氏名 ③郵便番号、住所 ④電話番号 ⑤参加人数(ご家族・お友だちなど本人を含めた人数) ⑥会員番号をお書きの上、お申し込みください。 ※電話での申込みは、不可。

申込締切 平成20年12月3日(水)必着
申込先 〒960-8670 福島市杉妻町2-16
福島県観光交流課「ふくしま大交流フェア」宛
FAX 024-521-7888
電子メール f.fanclub@pref.fukushima.jp
後日、申込みされた方へ招待状をお送りします。

入場無料

くり(2戸から5戸の移住者村)も進めています。
今年8月には、古民家再生展示住宅に関する事業案が国土交通省の「地域木造住宅市場活性化推進事業」の採択を受けました。今後は、展示住宅の着工から完成までを体験する企画など、古民家再生を楽しみ、学ぶ場を提供していきたいです。

- 今後の予定 —
- 東京古民家塾 11月28日 東京・銀座
 - ふるさと福島大交流フェア 12月14日 東京・大手町

ふくしま移住者e-ネット

<http://www.f-ijuusya.net/>

移住者と地域の方を結ぶ「ふくしま移住者e-ネット」が、このたび立ち上がりました。福島県に熱い思いを持つ移住者と地域の方、また移住者同士をつなぐネットワークづくりのためのサイトです。福島県への定住・二地域居住をお考えの方からの質問もお待ちしております。

ふくしまのうまいもん プレゼントクイズ

クイズに答えてくれた方の中から抽選で2名様に、小野町のミネラル野菜詰合せをプレゼント!

問題

小野町で栽培されている甘みのあるほうれん草のなまえは何でしょう? ヒントは1ページ...

答:○○○ほうれん草



詰合せイメージ

応募方法 はがきに郵便番号、住所、氏名、電話番号、会員番号、クイズの答え、今回の会報の感想などを明記し、下記のあて先へお送りください。

応募締切 12月26日(金)必着
あて先 〒960-8670 福島県福島市杉妻町2-16
福島県観光交流課

ふくしまファンクラブ「プレゼント」係
*当選者の発表は賞品の発送に代えさせていただきます。お預かりした個人情報は、賞品の発送などファンクラブに関する事務以外に使用することはありません。福島県個人情報保護条例に基づき、個人情報の目的外利用はいたしません。